

# ODA

# しゃりん 66

## 沖縄脊髄損傷者連合会

編集: 沖縄脊髄損傷者連合会 TEL/FAX 098-886-4211  
〒903-0804 沖縄県那覇市首里石嶺町4-373-1西棟2階・ボランティア小規模団体室  
Eメールアドレス [sekiren@proof.ocn.ne.jp](mailto:sekiren@proof.ocn.ne.jp)  
ホームページアドレス <http://www.normanet.ne.jp/~ww500008/>

### 九脊連定例会参加報告

七月十六日〜十七日に福岡県春日市にある福岡県クローバープラザに於いて、九州各支部が集い開催された。

議題は①「障害者自立支援法の成立促進の要請に係る経緯について」②脊髄損傷者のピアマネジャー養成研修会(九州ブロック開催)について、2項目で協議されました。

①についての全国総会山形大会での協議では、九州ブロック地区だけが“うるさく問題提起している”といった雰囲気、全体での問題意識にはならず、改めて九州地区が具体的対策案を本部提案していくこととなったと報告があった。

この問題意識の地域格差の原因は、自立支援法に対する問題意識をもって、いかに対峙する姿勢があったかではないだろうか。福岡や沖縄では他の障がい者団体と連携して反対運動をしていて、その時期に、本部による成立要請行為が、連携運動している地域での、団体間のギクシャクが生じたといえる。だからこそ、本部の行為に対しての憤りを感じ問題提起しているのだ。

今回の問題は、脊損会の本質的課題なので、継続的に研究協議する必要がある、九州ブロックとしても具体的対策案を提示することが肝要と意見がまとまった。

②の「脊髄損傷者のピア

マネジャー養成研修会(九州ブロック開催)」については、仲根が本部の研修委員会委員を兼ねていることもあり、九州の進行段取りを開催支部である鹿児島兼支部と連携して準備をすすめることとなった。同養成講座は来る九月二日(土)・三日(日)に開催される予定で、各支部から5名の参加割り当てとなっております。沖縄県支部会員の方で、受講希望があれば、事務所に問い合わせして下さい。

### 療護施設訪問・交流会

#### ①一心療護園(大宜味村)

去る七月二十三日(日)大宜味村にある身体障害者療護施設・一心療護園にて、沖縄連役員による施設訪問・交流会を行いました

た。これは、本年度の活動テーマのひとつである、本島内に所在する8つの療護施設を訪問することで、当会員の仲間達の生活の様子を理解することと共に、会員以外の脊髄損傷の方々を紹介していただき、了解が得られる方には、二ヶ月に一度発行している「しやりん」や関連情報を継続して送り、絶えず連携を深めるために行ないました。

会長、副会長並びに理事やサポーター合わせて7名のスタッフで、訪問先である一心療護園の会議室をお借りして、以前より知り合っていた大見謝さん、仲原さんと共に床ずれやしびれ、排尿・排便の管理の方法など、共通の課題について情報交換をお行ないまし

た。また、沖脊連が保有するノート型パソコンと障害の程度に対応する周辺機器を持ち寄り、重度の障害でもパソコンを操作することで情報収集やメールのやり取りを通して、継続した連携がとりやすくなることを伝えました。さらに、お2人には、施設の中を案内してもらいながら、入所している他の脊髄損傷の方数人も紹介していただきまし

た。聞いてみると、入所者の中で脊髄損傷の方は、お2人も含めて5名ほどおられるそうです。沖脊連会員の会員の皆さんや関係者の皆さん、北部の方へ遊びに行く機会がありましたら、大宜味村の一心療護園にも足を運んでみてください。終わりに、休

日にもかかわらず、会議室を提供していただいた療護園施設長を始め、応対していただいた施設職員の皆さんへ、この紙面をお借りして深く感謝申し上げます。

## ②松原園（金武町）

去る七月三十日（日）、沖脊連役員、介助者合わせて5名で、金武町にある身体障害者療護施設「松原園」を訪問しました。そこには沖脊連会員2人が入所しており、久し振りに会うメンバーとの交流を深めながら、施設内も案内してもらいました。

松原園に入所している脊髄損傷者は5名で、「なかなか外出する機会は少ない」とのこと。快く対応していただいた平田さんや施

設職員の皆さんへ感謝を申し上げると共に、金武町の方へ行かれる方は、是非、松原園にも足を運んで、脊損の仲間に会いに行くことをお勧めします。松原園の場所は、高速を北向けに走り↓金武の料金所であり、国道329号をさらに北向けに進むこと15分↓右手に「松原園」の看板を目印に右折すると到着です。

## ③美原の里（うるま市石川）

午前中の「松原園」の訪問を終えた後、午後ほうるま市石川にある身体障害者療護施設「美原の里」に向かいました。同じく5名のスタッフで訪問すると、施設では、食堂に脊髄損傷者以外の施設利用者もたくさん集まり、私達を迎えてくれました。施設利用者の中

からは、「脊髄損傷に関する最新の治療法の情報や勉強会等をもっと多く開催したほうがよい」といった、積極的で前向きな意見があり、今後も機関紙「しゃりん」の発送を中心に、メール等も活用して出来る限りの情報提供を行い、連携を深めていきたいと思いません。

現在「美原の里」には9名ほどの施設利用者がいるそうです。また、“支援課”を設置して、施設利用者の外出支援を中心にしたユニークな取り組みも行ってっており、可能な限り施設利用者の要望に応えようとする雰囲気を感じられました。「美原の里」へは、国道329号を北向けに進む↓新しく開通した石川バ

イパスと石川市街へ続く旧道と分かれる三叉路を栄野比方面への旧道に入る↓10分ほど進むと国道329号とうるま市の天顔栈橋へつながる三叉路を栈橋方面へ右折↓5分ほど走ると右手に「美原の里」が見えてくる。

(報告・上里)

【療護施設住所】

◎一心療護園

大宜味村字田港748の1

電話・0980・44・2234

FAX・0980・44・2633

◎松原園

金武町字金武4231

電話・098・968・3961

FAX・098・968・3916

◎美原の里

うるま市石川東恩納151

7

電話・098・965・3308

FAX・098・965・2022



《一心療護園》

毎月三十日発行  
ODA号外



《松原園》

発行人  
沖縄県南風原町字神里六三一  
沖縄県身体障害者福祉協会



《美原の里》

編集人  
沖縄県那覇市石嶺町四一三七三一西棟2F  
ボランティア小規模団体室・しゃりん編集部  
上里一之

車いすツインバスケットボール体験交流

去る七月十二(水)、東風平社会福祉協議会主催による車いすツインバスケットボール体験交流が行なわれ、沖縄フェニックスのメンバー5名、マネージャー1名が講師として参加しました。午前中はメンバーの州鎌による、障害者スポーツを中心とした講話が行なわれ、午後からはツインバスケットボールのルール説明、又参加中学生同士による体験ゲームが行なわれました。今回、生徒約30名が参加していましたが、車椅子バスケットの楽しさを実際に体験し、ゲームでも一生懸命プレーしていました。

広告

購読料は会費を含む  
【頒価 二十円】